



データリサーチアクション

わからない未来を みんなでワクワクに変える

オープンデータ活用、地域課題の解決に取り組む方、セクターの壁を越えて課題解決やまちづくりに取組みたい方、ぜひご参加ください。

11.5(土)16時-18時

会場:仙台市市民活動サポートセンター
定員:30名(要申込、無料)

お申込み等は裏面をご覧ください



交流会 (NETWORKING TIME ヨナヨナ)
18:00-20:00 ※ご希望の方のみ、参加費千円

話題提供者



鈴木祐司さん(公益財団法人地域創造基金さなぶり 事務局長)

話題提供①「データを活用したまちづくりにおける国内外の事例紹介と、とうほく復興データプロジェクトの展開について」



佐藤芳治さん(NPO法人都市デザインワークス 事務局長)

話題提供②「まちの現状を可視化して、課題を考察し、アクションする。」

マチノワ・ラボは、市民一人ひとりの知恵や経験を持ち寄り、仙台におけるこれからの地域づくりや社会づくりを考え、実践の準備をするための広場です。

今回のゲストは、とうほく復興データプロジェクトなど、今後の復興・創生期に向けた地域の状況をデータ化して多様な担い手に届けている公益財団法人地域創造基金さなぶりの鈴木さんと、まちづくりの際に独自のデータを制作し、参画する市民の議論や検討を具体化しているNPO法人都市デザインワークスの佐藤さんです。

ゲストのお話を題材に、データから地域課題を可視化し、セクターを越えてアクションを引き出す仕組みについて、参加者の方々と一緒に考えます。

本企画は、仙台市市民活動サポートセンターが主催する「マチノワWEEK まちづくりのアイデア広場『触れる』『交わる』『考える』」の一部です。11月3日(木・祝)~6日(日)にかけて様々なイベントを行います。